

うつ病発症を予防する栄養因子の探索研究

柴田学園大学健康栄養学科

佐藤 瑞穂

TEL 0172-32-2289

FAX 0172-33-2486

顔写真等
(希望者のみ)

e-mail m-sato@shibata.ac.jp

キーワード

栄養学、神経科学、スポーツ栄養学、運動生理学

うつ病は、世界で成人の5%が罹患していると言われており、最も一般的な精神疾患です。うつ病は、抗うつ薬が処方されますが、奏効しないケースが多く、また長期に渡って投薬し続けないと寛解しないほか、自殺企図などの重い副作用も引き起ります。そのため、うつ病の対策には、治療戦略だけでなく予防戦略が重要になりました。我々は、食品によるうつ病予防の可能性に着目し、以下の研究を行っています。

【研究テーマ】

うつ病モデルマウス（社会的敗北ストレスモデル）を使った研究

- ✓ ストレス抵抗性（レジリエンス）を付与する栄養因子の探索研究
- ✓ うつ病発症に関与する脳内トリプトファン代謝の研究

社会的敗北モデルマウスを用いた農産物・食品のスクリーニング



青森県産農産物



オーバートレーニング症候群の研究

- ✓ オーバートレーニング症候群モデルマウスの開発
- ✓ オーバートレーニング症候群を予測するバイオマーカーの探索
- ✓ アスリートの身体情報を評価する尿中代謝産物の研究

夜間勤務モデルマウス（24時間明期環境）を使った研究

- ✓ うつ病発症に関与する光環境の研究
- ✓ 肥満発症に関与する光環境の研究